

この農業用水は? どこから?



農業用水水源地域の保全

水をたたえる豊かな大地。
それは森と用水のめぐみ。



とやまの 用水 と森 と…。



富山県は、3,000m級の立山連峰をはじめとする

山々に降る大量の雨や雪が大小さまざまな河川となって流れ、

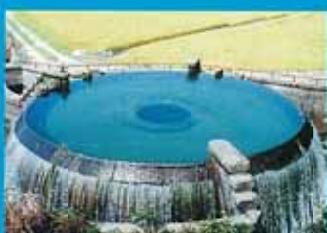
清らかで豊かな水の恵みを受けています。

大地を流れる水の約9割が農業用水で、水田率は全国一(96%)。

森で育まれた水は、すみずみまで張りめぐらされた用水路によって運ばれ、

大地に実りをもたらし、とやまの農村風景をつくりあげています。

水源である森林を大切に守り、育むことは、用水を守ることにつながります。



豊かな水を守ることは、水源である森林を大切に守り、育むこと。
農業用水の安定供給と国土の保全のためには、水源かん養機能の発揮、
土砂災害防止機能の向上や良好な森林水環境の形成を図っていくことが必要です。

農業用水水源地域保全対策の事業趣旨

良質な農業用水の安定的な供給と国土の保全のためには、水源地域における森林について、水源かん養機能の発揮、土砂流出防止機能の向上や良好な森林水環境の形成を図る必要があります。

また、地球温暖化問題は人類全体の重要な環境問題です。とりわけ京都議定書に定められた目標達成は緊急の課題であり、森林のCO₂吸収量目標の達成に向けた森林整備などの強力な推進が不可欠です。

このため、農業生産地域の水源地域において良質な農業用水の安定的な供給などに資する森林整備を実施するための調査などを行うとともに、水の恩恵を受けている下流地域の農業者や地域住民などが水源地域を取り巻く現状や課題について理解を深めるための普及促進活動を実施するものです。

農業用水の多面的機能



農業用水は田畠をうるおし、のどかな田園風景をつくりあげています。

また、水や大気の循環を通して、林業や水産業とも密接につながっているほか、

防火や消雪、農村環境の保全、水辺の環境づくりなど、さまざまな役割を果たしています。



森林の土壌に落葉が落とされた雨水は深滲(じんしぶ)して流れ出ます。



森林は、雨水を貯(たま)めて、土砂流出(じゅりゅう)を防ぎます。



森林は、雨水を貯(たま)め、土砂流出(じゅりゅう)を防ぎます。

土砂浸食崩壊防止



森林は、雨水を貯(たま)め、土砂流出(じゅりゅう)を防ぎます。

水質浄化



森林は、雨水を貯(たま)め、土砂流出(じゅりゅう)を防ぎます。

洪水の防止



森林は、雨水を貯(たま)め、土砂流出(じゅりゅう)を防ぎます。

地下水かん養



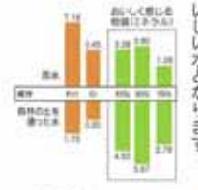
地域用水(防火・消雪)



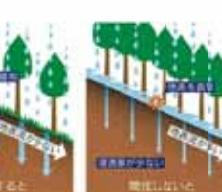
森林の多くは水源地に位置しており、私たちの豊かな生活を守る大切な働きをしています。雨水を吸収して土砂の流出や崩壊を防ぎ、良質な農業用水の安定的な供給と国土の保全に役立っているほか、森林の土壤で栄養分をたくわえた水は、大地に豊かな実りをもたらします。

水源かん養(水質浄化・洪水緩和)

森林は、土砂流出・崩壊防止の機能を發揮し、水が潤るのを防ぐ働きをしています。また、森林土壤は降った雨を入れながら吸収して、洪水を緩和する機能を発揮しています。



森林の土壌に落葉が落とされた雨水は深滲(じんしぶ)して流れ出ます。森林は、土砂流出・崩壊防止の機能を発揮します。



森林を豊かにするためには、開拓を行わない、暗い林内では、地表がひき出されになり、雨が落ちると土が流失(じゆりゆう)します。また、雨水が土壌へ浸透する量や保水量も多くなるため、水源かん養機能が向上します。

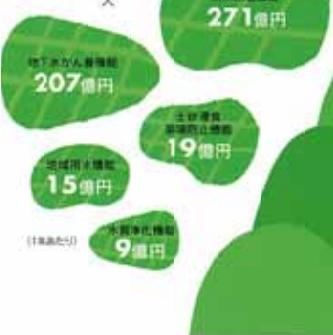


森林の多面的機能

地球温暖化防止(地球環境保全)

森林は、温暖化の原因である二酸化炭素を吸収し、炭素の形で固定して、地球の温暖化防止に重要な役割を果たしています。

とやまの森のはたらきを
金額で評価すると
評価の一例
試みとして、富山県の農業用水の供給で、
年に開拓して多くの森林を伐採(ばくさい)
して造成(せいぞう)した結果、評価額
は1年間約8万円の金額とされています。
これは、富山県の人口約120万人に対して、
1人当たり1年間約8万円の金額と想定されています。



守り、育み、伝えよう。

取り組み事例

農業用水と、その水源である森林との密接な関わりを広く皆さんに知っていただくために。
そして、もっと農業用水に親しみ、もっと有効に活用していくために。
子どもたちの体験学習やシンポジウム、イベントなどを行い、伝えていきます。



用水見学会

地元の小学生や地域住民の方々を対象に、用水の上流から下流までを見学し、その役割や大切さを知つてもらうことを目的として開催しています。

[主催・水土里ネット]



シンポジウム

県全域、森林計画区や地域など、効果的な普及促進が行えるエリアを設定し、それぞれの課題などに応じたテーマや内容で行います。また、施設見学会や水路沿いへの植栽を行つなど、農業用水に親しみをもてるような活動も併せて行います。

[主催・県・県水土里ネット]



イベントでのPR

農業祭、収穫祭、地域のイベントなどに参加し、展示パネルやパンフレットを活用して啓発普及を行います。



施設案内の設置

歴史のある農業水利施設や親水施設のそばに設置し、その場所を訪れた人に、施設の歴史や役割について案内しています。また、用水見学や水土里ウォークなどの開催時の説明に利用しています。

とやまの農業用水

富山県には、大小約300の川があります。この豊富な水は、古くから農業、工業などに利用され、産業活動を支える重要な資源となっています。なかでも、水使用量の大半を占める農業用水は網目のように張り巡らされた農業用水路を通じて、富山の大地をうるおし、地域の生活とも深い関わりをもってきました。

農業用水は多くの農産物を育てるだけでなく、生活用水や消流雪・防火用水としても使われています。また、豊かな田園風景をつくりだし、生物が棲む環境を守る役割も果しています。地域の人々に水辺の空間を提供して、憩いの場やレクリエーションの場としても活用されています。



富山県の水土図

疏水百選

これらの疏水は、古くから集落の共同作業によって維持管理され、食糧生産のみならず、国土や生態系の保全など様々な役割を担ってきました。富山県では4つの疏水が選ばれ、全国に紹介されています。

「疏水」とは……灌漑や舟運のために新たに土地を切り開いて水路を設け、通水させること

【舟倉用水】

富山県富山市街地の開拓に貢献する
内野野谷川 5.0km

■疏水の概要・特徴

舟倉台地の荒野を開墾するため、急峻な山腹急傾斜を蛇行しながら延々14km余りを導水し、20年もの歳月をかけて文化13年(1816)に完成しました。現在の舟倉台地は区画整理によって潤沢に水が流れ、地域用水としても大いに利用されています。



【十二貫野用水】

富山県高岡市の南方に達なる地域
現存箇所 2.0km

■疏水の概要・特徴

今から約170年前、当時の先覚者・椎名道三が、藩直営の事業として用水の開削を実施。当時の技術では考えられない工法で、延長約23kmの通水工事が行われました。支線用水路には谷間を通水するため、逆サイフオンの原理を取り入れています。



【常西合口用水】

富山県富山市街地の開拓に貢献する
内野野谷川 5.0km

■疏水の概要・特徴

常願寺川左岸の洪水対策として、オランダ人技師ハネスティーレーク指揮で明治25年に完成。当時、常願寺川左岸には12の取入れ口があつたため、洪水の度に氾濫を繰り返していましたが、左岸の取水口を安全な場所に合併し合口化する計画を図り、当時としては全国有数の合口用水が誕生しました。



【鷹栖合口用水】

富山県高岡市街地及び小矢部市の
現存箇所 1.0km

■疏水の概要・特徴

鷹栖合口用水の起源は、江戸時代の延宝7年(1679)といつて史ある疏水。庄川合口堰堤から取水された水は、庄川沿岸用水・土地改良区連合が管理する幹線水路を通じて、当用水が管理する約37kmの水路へと導かれ、水田だけでなく地域産業の発展や防火用水・消融雪水などの地域用水にも活用されています。



お問い合わせ先

富山県農林水産部耕地課

TEL.076-444-3377 FAX.076-444-3437 富山市新総曲輪1番7号
<http://www.pref.toyama.jp/>

富山県土地改良事業団体連合会(水土里ネット富山)

TEL.076-424-3300 FAX.076-424-3332 富山市黒崎17番地
<http://www.tomidoren.jp>